

2013 年度 授業改善アンケート結果報告

■授業アンケートの目的

学生がより積極的および能動的な学習者（アクティブ・ラーナー）になることを目指し、これらを可能にする授業および教育環境の実現に向けた改善を目的とする。

■授業アンケート項目

アンケートの項目は下記の 14 項目である。回答方法は Q1～Q12 までが「5.あてはまる」「4.ややあてはまる」「3.どちらともいえない」「2.ややあてはまらない」「1.あてはまらない」の 5 段階評価であり、Q13、Q14 は自由記述形式である。

授業に対するあなたの取り組みについて回答してください。

- Q1. 授業目標を達成するために、計画的に授業に取り組みましたか？
- Q2. 遅刻や欠席をしないように努め、授業に積極的に取り組みましたか？
- Q3. 質問や相談など、教員と積極的にコミュニケーションをとりましたか？
- Q4. 受講者同士で授業や課題について話し合うなど、コミュニケーションを積極的にとりましたか？
- Q5. 予習・復習のために講義ノートや制作ノート、資料ファイルなどの記録を作りましたか？
- Q6. 課題（宿題・レポート）に積極的に取り組みましたか？

授業に関する教員の指導について回答してください。

- Q7. 授業の到達目標について満足な説明があり、計画的に学習できるような授業でしたか？
- Q8. 授業の内容は、関心をもって取り組めるものでしたか？
- Q9. 質問を求める促しや質問への回答など、教員とコミュニケーションがとりやすい雰囲気はありましたか？
- Q10. 授業や課題について他の受講生と話し合ったりするなど、コミュニケーションをとるよう教員は促していましたか？
- Q11. レクチャー（投影資料や板書を含む）やアドバイス、学習または制作の過程や配布資料などを、予習・復習のためにノートやファイルとして記録するよう教員は促していましたか？
- Q12. 課題の量と難易度は取り組むのに適切でしたか？

以下の項目は自由記述形式で回答して下さい。

- Q13. 授業独自質問（授業内に指示）
- Q14. その他、授業の感想や意見など自由に書いてください

■2013 年度授業改善アンケートの年間結果分析

①学生の積極性と教員の積極性のマッチング

学生の積極性(Q1～6)と教員の積極性(Q7～12)の素点平均

	学生平均	教員平均	全体平均
講義科目	3.82	4.04	3.93
演習科目	4.07	4.31	4.19
全体	3.94	4.17	4.05

総合的には教員の積極性平均が学生の積極性平均を上回っており、学生たちは教員の環境設定に対して自身の取り組みが十分ではないと評価している。また、本学の学生は講義科目に比べて演習科目に積極的であり、環境設定への評価も演習科目において高い傾向がある。これらは昨年度と同様の傾向である。

②設問別素点平均

設問別素点平均

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
講義科目	4.02	4.07	3.38	3.73	3.74	3.98	4.19	4.34	3.96	3.78	3.87	4.11
演習科目	4.15	4.11	4.05	4.28	3.67	4.13	4.38	4.50	4.45	4.31	3.99	4.23
全体	4.08	4.08	3.71	4.00	3.70	4.05	4.28	4.41	4.21	4.04	3.92	4.17
全体(2012年度)*	3.92	3.98	3.54	3.83	3.56	3.97	4.12	4.26	4.06	3.93	4.01	4.04

*7段階評価の素点平均を5段階評価相当に換算(×0.7143)

全体の傾向として、「Q3.教員とのコミュニケーション」と「Q5.ノート、記録の作成」で学生の自己評価が顕著に低い。「Q5.ノート、記録の作成」は講義・演習科目ともに低く、対応する「Q11.教員からのノート・記録作成の促し」の評価も比較的低いため、この点の改善は科目問わず全授業での課題といえるだろう。また、「Q3.教員とのコミュニケーション」は講義科目で顕著に低く、「Q4.学生間のコミュニケーション」も比較的自己評価が低い。講義科目では、対応する教員の環境設定(Q9,10)への評価もともに低いため教員および学生間のコミュニケーションの改善が課題である。

なお、全体の素点平均は昨年度に比べ全般的に上昇しているが、今年度は7段階評価から5段階評価へとアンケートの回答形式を変更したため、水準の変化への影響を考慮すると全般的な改善とは断定しにくい。評価の傾向は昨年度と同様のため、上記の課題は昨年度に引き続き本学の課題といえる。

③学生の積極性と教員の積極性のマッチングの隔たり

マッチングの隔たり(単位:%)**

	Q1,7 計画・達成	Q2,8 積極的関心	Q3,9 教員とのCo	Q4,10 学生間のCo	Q5,11 ノート・記録	Q6,12 課題
講義科目	4.38	6.68	14.48	1.10	3.33	3.33
演習科目	5.71	9.79	10.00	0.78	7.94	2.54
全体	5.01	8.13	12.32	0.99	5.43	2.95

** (教員の積極性－学生の積極性) × 25

設問ごとの教員の積極性と、それに対応する学生の積極性のマッチングで見た場合、「Q3,9 教員とのコミュニケーション」で隔たりが目立つ。②の素点平均と照らし合わせると、特に演習科目では教員が積極的に促しているが、学生は行動に移せていないことが考えられる。この点は、学生が実行できるような環境設定や促し方への工夫が必要といえるだろう。また、講義科目での「Q4,10 学生間コミュニケーション」や「Q5,11 ノート・記録の作成」は、教員－学生間で隔たりは小さいが、素点の水準としては低いところでマッチングしているため、教員からのより積極的な促しが必要と思われる。

④学生の総合的な積極性に対する教員の要素別環境設定の影響(別紙資料「重回帰分析結果」)。

講義科目では、「Q11.教員からのノート・記録作成の促し」が、学生の総合的な積極性(Q1～6の素点合計)に与える影響が最も大きく、次いで「Q9.教員とのコミュニケーションの促し」、3番目に「Q12.適切な課題の量と難易度」となっている。また、演習科目では、「Q11.教員からのノート・記録作成の促し」と「Q8.関心の持てる授業内容」が学生の総合的な積極性に与える影響が大きく、次いで「Q10.学生間のコミュニケーションの促し」と「Q12.適切な課題の量と難易度」となっている。

このため、全科目において「ノート・記録作成の促し」は学生の積極性を育むのに効果的だといえる。また、それぞれの科目において、影響の大きい要素を特に重視することも効果的な改善につながると考えられる。

⑤学生の自己評価の傾向（別紙資料「相関係数」）

学生の自己評価（Q1～6）の相関関係から見える傾向を科目ごとに以下に示す。

▼講義科目

- ・計画的に授業に取り組んだ学生は、おおむね授業出席や課題に積極的で、ある程度、教員とのコミュニケーションがとれている。
- ・授業に積極的に出席した学生は、おおむね計画的で課題にもよく取り組み、ある程度、ノート・記録をつけている。
- ・教員と積極的にコミュニケーションをとった学生は、総合的な積極性が高く、おおむね他の受講者ともコミュニケーションを取っており、ある程度、計画的でノート・記録を取っており、課題にも取り組んでいる。
- ・受講者同士でコミュニケーションを積極的にとった学生は、おおむね教員ともコミュニケーションを取っており、ノート・記録も作成している。
- ・ノート・記録を取っている学生は、ある程度、教員や他の受講者とコミュニケーションがとれている。
- ・課題に積極的に取り組んだ学生は、おおむね計画的で積極的に授業に出席し、ある程度、教員ともコミュニケーションを取っている。

▼演習科目

- ・計画的に取り組んだ学生は総合的な積極性が高く、おおむね授業出席や課題、教員とのコミュニケーションに積極的で、ある程度、他の受講生とコミュニケーションも取っている。
- ・授業に積極的に出席した学生は、おおむね計画的で、ある程度、課題にも取り組んでいる。
- ・教員と積極的にコミュニケーションをとった学生は、おおむね計画的で他の受講者ともコミュニケーションを取っており、ある程度、課題にも取り組んでいる。
- ・受講者同士でコミュニケーションを積極的にとった学生は、おおむね教員ともコミュニケーションを取っており、ある程度、計画的でノート・記録を取り、課題にも取り組んでいる。
- ・ノート・記録を取っている学生は、おおむね課題にも積極的で、ある程度、他の受講者とコミュニケーションがとれている。
- ・課題に積極的に取り組んだ学生は総合的な積極性が高く、おおむね計画的でノート・記録を取っており、ある程度、授業出席もよく、教員や他の受講生とコミュニケーションを取っている。

⑤偏差値換算（別紙資料参照）

各学科の素点平均を偏差値換算し、大学平均に対する各学科の水準を表した。学科間により強い項目、弱い項目が相当に異なることがわかる。加えて、講義科目を得意とする学科、演習科目を得意とする学科など偏りがある。また、年度比較では特に講義科目での変化が著しい。このことから、講義系科目は改善の取り組みが顕著に出やすいことがわかる。各学科で弱い部分は、学科間の交流を活発にし、改善幅の大きい学科の取り組みや偏差値の高い学科の取り組みを参考にすることで改善が可能だと思われる。

《2013年度前期授業改善アンケート実施件数、回答率》

学科	講義				演習				全体			
	受講人数	配付件数	回答件数	回答率	受講人数	配付件数	回答件数	回答率	受講人数	配付件数	回答件数	回答率
芸術教養	6518	3912	3890	59.68%	1939	1620	1594	82.21%	8457	5532	5484	64.85%
資格	1176	1003	983	83.59%	170	158	158	92.94%	1346	1161	1141	84.77%
美術工芸	846	558	554	65.48%	809	747	592	73.18%	1655	1305	1146	69.24%
マンガ	309	276	271	87.70%	556	470	465	83.63%	865	746	736	85.09%
キャラクターD	158	90	87	55.06%	515	394	381	73.98%	673	484	468	69.54%
情報D	368	303	299	81.25%	1355	1161	1094	80.74%	1723	1464	1393	80.85%
プロダクトD	314	274	273	86.94%	479	419	419	87.47%	793	693	692	87.26%
空間演出D	469	323	274	58.42%	505	453	410	81.19%	974	776	684	70.23%
環境D	689	599	583	84.62%	525	420	419	79.81%	1214	1019	1002	82.54%
映画	214	162	162	75.70%	598	409	377	63.04%	812	571	539	66.38%
舞台芸術	101	73	73	72.28%	68	60	60	88.24%	169	133	133	78.70%
文芸表現	443	443	305	68.85%	182	181	108	59.34%	625	624	413	66.08%
ASP	373	218	218	58.45%	48	36	36	75.00%	421	254	254	60.33%
こども芸術	256	218	216	84.38%	390	345	342	87.69%	646	563	558	86.38%
歴史遺産	514	349	348	67.70%	280	193	190	67.86%	794	542	538	67.76%
計	12748	8801	8536	66.96%	8419	7066	6645	78.93%	21167	15867	15181	71.72%

《2013年度後期授業改善アンケート実施件数、回収率》

学科	講義				演習				全体			
	受講人数	配付件数	回収件数	回収率	受講人数	配付件数	回収件数	回収率	受講人数	配付件数	回収件数	回収率
芸術教養	9212	5528	5485	59.54%	1804	1445	1438	79.71%	11016	6973	6923	62.84%
資格	1234	958	935	75.77%	148	129	128	86.49%	1382	1087	1063	76.92%
美術工芸	689	356	356	51.67%	779	683	593	76.12%	1468	1039	949	64.65%
マンガ	284	195	195	68.66%	468	352	348	74.36%	752	547	543	72.21%
キャラクターD	145	127	126	86.90%	944	668	647	68.54%	1089	795	773	70.98%
情報D	280	214	208	74.29%	1532	1308	1201	78.39%	1812	1522	1409	77.76%
プロダクトD	266	230	210	78.95%	523	453	453	86.62%	789	683	663	84.03%
空間演出D	232	159	147	63.36%	837	703	575	68.70%	1069	862	722	67.54%
環境D	763	490	476	62.39%	497	321	321	64.59%	1260	811	797	63.25%
映画	236	150	150	63.56%	971	634	627	64.57%	1207	784	777	64.37%
舞台芸術	260	161	161	61.92%	697	510	510	73.17%	957	671	671	70.11%
文芸表現	563	336	294	52.22%	235	149	139	59.15%	798	485	433	54.26%
ASP	393	229	229	58.27%	167	95	95	56.89%	560	324	324	57.86%
こども芸術	168	145	143	85.12%	395	364	356	90.13%	563	509	499	88.63%
歴史遺産	573	381	381	66.49%	286	158	158	55.24%	859	539	539	62.75%
計	15298	9659	9496	62.07%	10283	7972	7589	73.80%	25581	17631	17085	66.79%

2013年度 授業アンケート学科別平均【全体】

2012年度 2013年度

Q1. 授業目標を達成するために、計画的に授業に取り組みましたか？

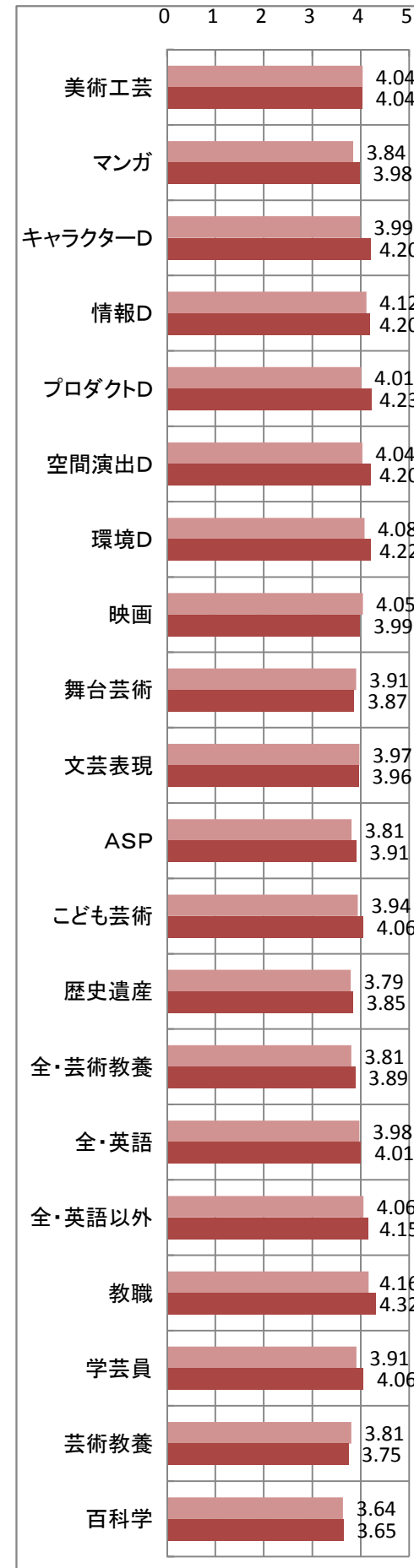
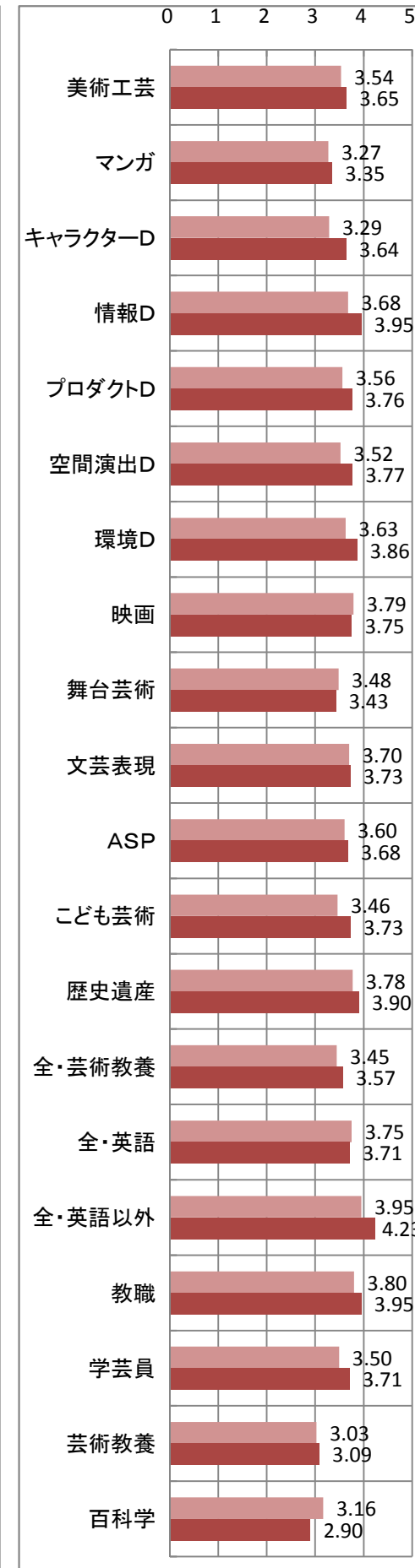
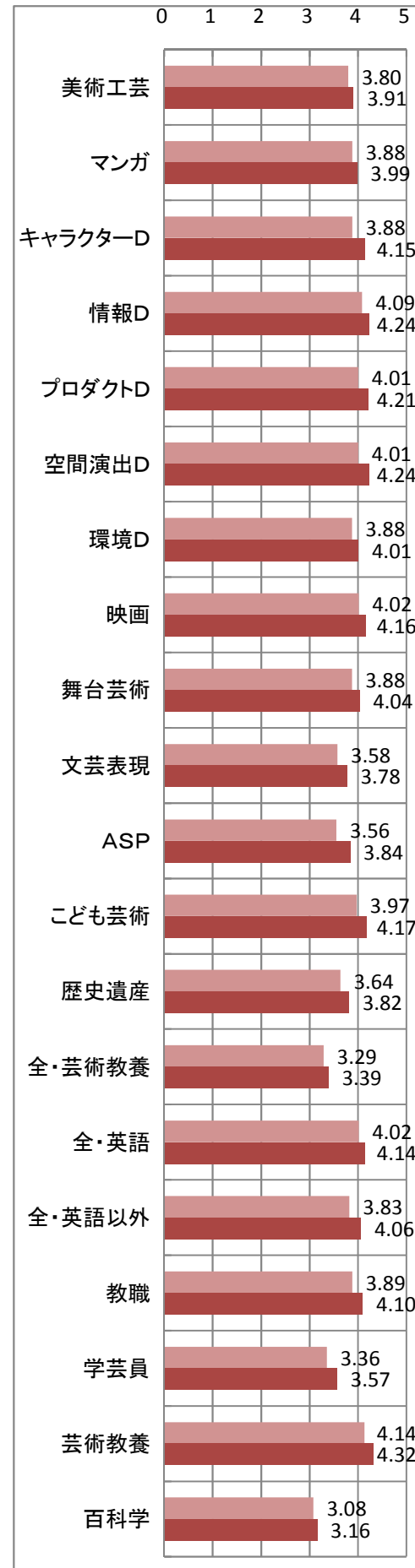
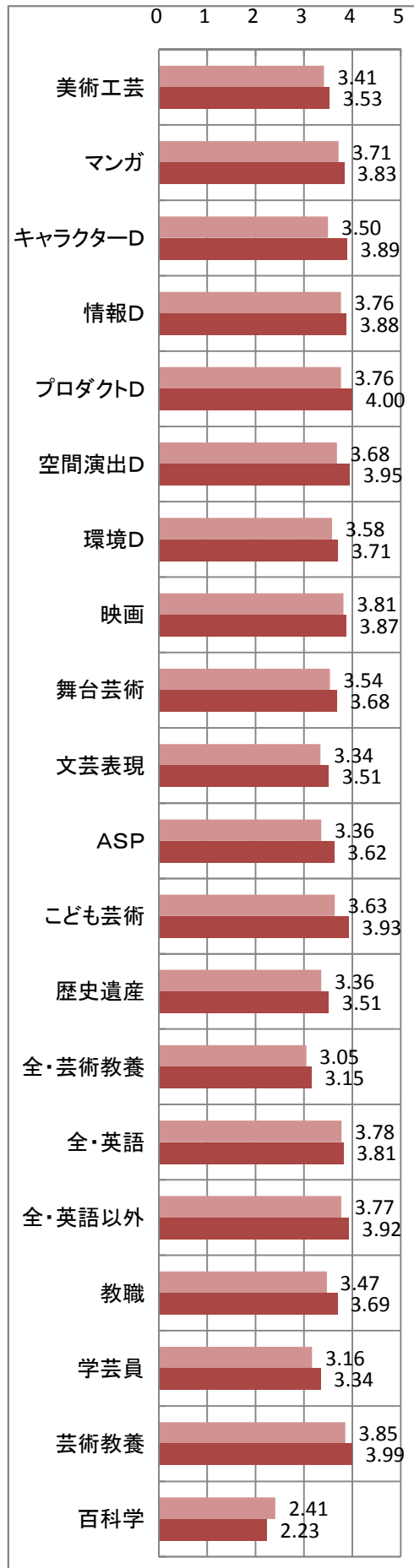
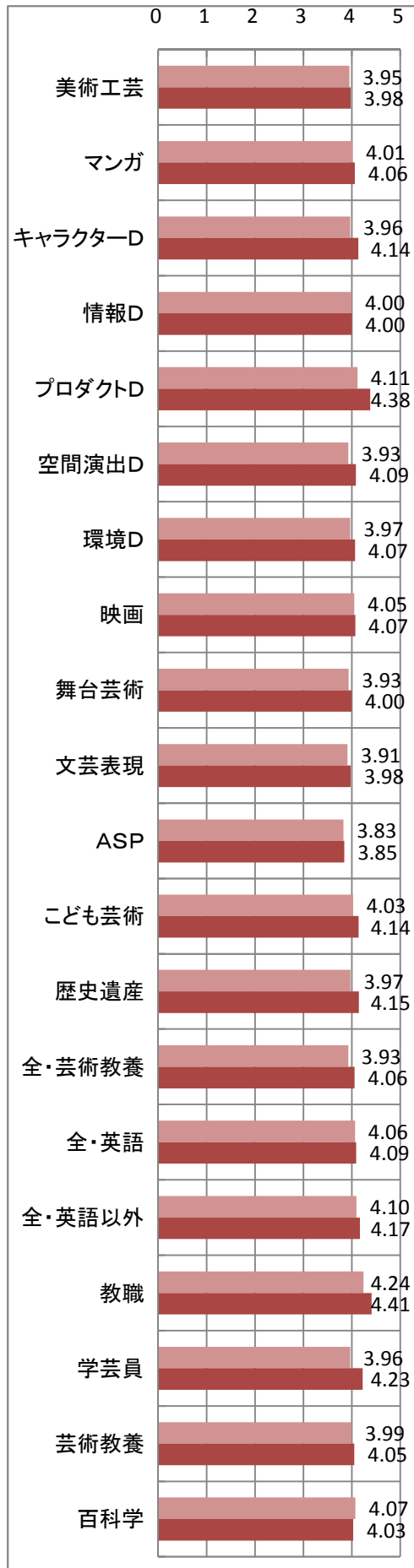
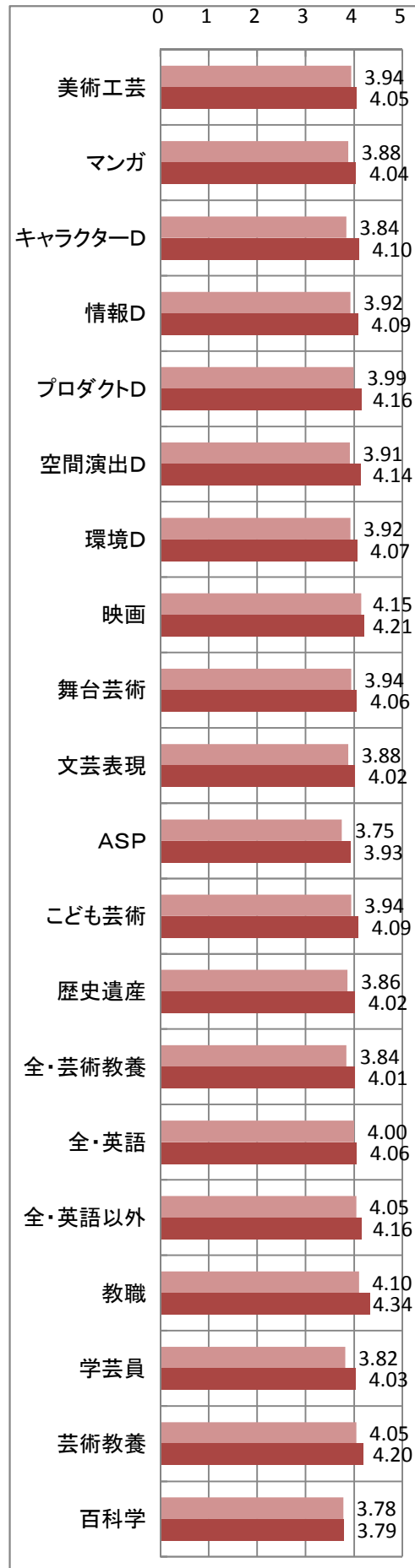
Q2. 遅刻や欠席をしないように努め、授業に積極的に取り組みましたか？

Q3. 質問や相談など、教員と積極的にコミュニケーションをとりましたか？

Q4. 受講者同士で授業や課題について話し合うなど、コミュニケーションを積極的にとりましたか？

Q5. 予習・復習のために講義ノートや制作ノート、資料ファイルなどの記録を作りましたか？

Q6. 課題(宿題・レポート)に積極的に取り組みましたか？



2013年度 授業アンケート学科別平均【全体】

2012年度 2013年度

Q7. 授業の到達目標について十分な説明があり、計画的に学習できるような授業でしたか？

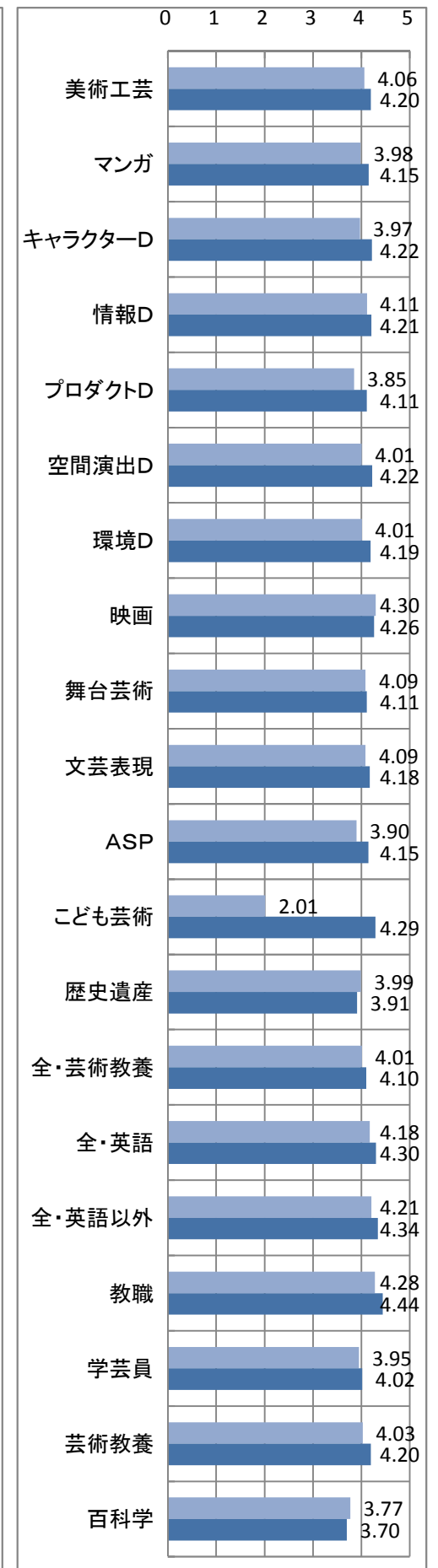
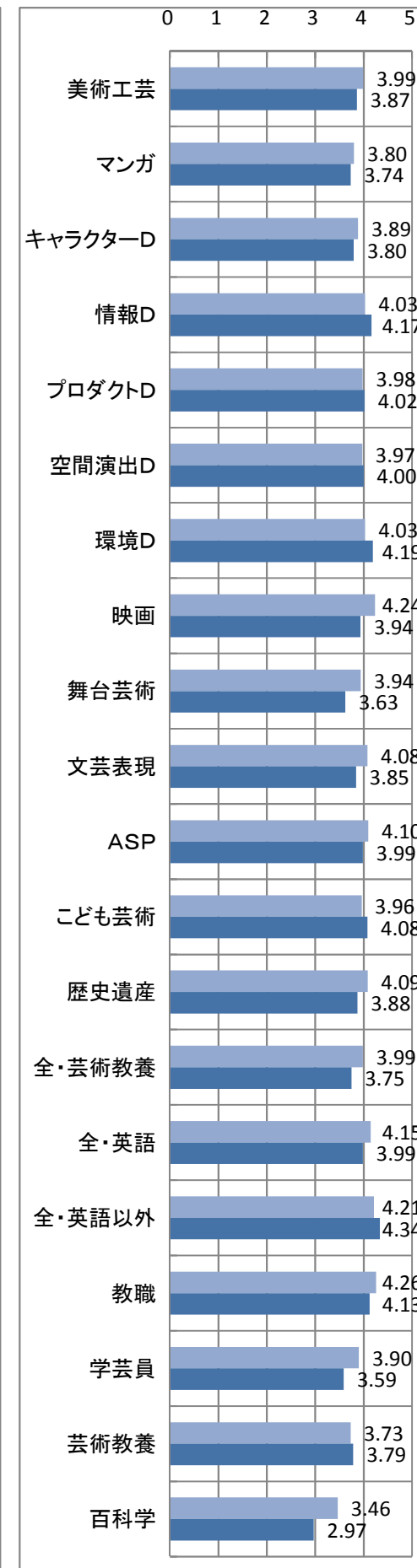
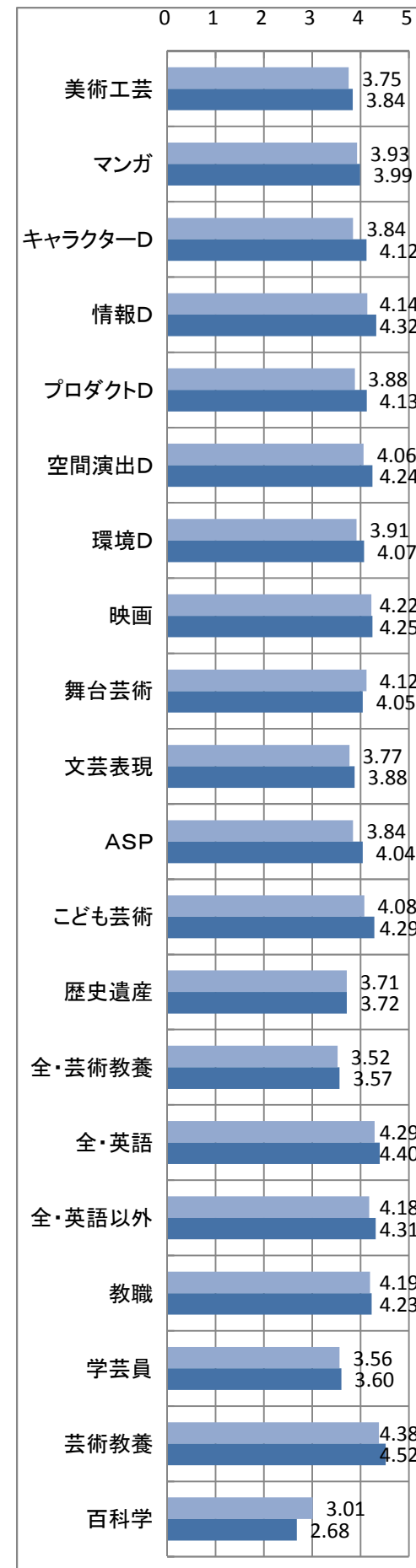
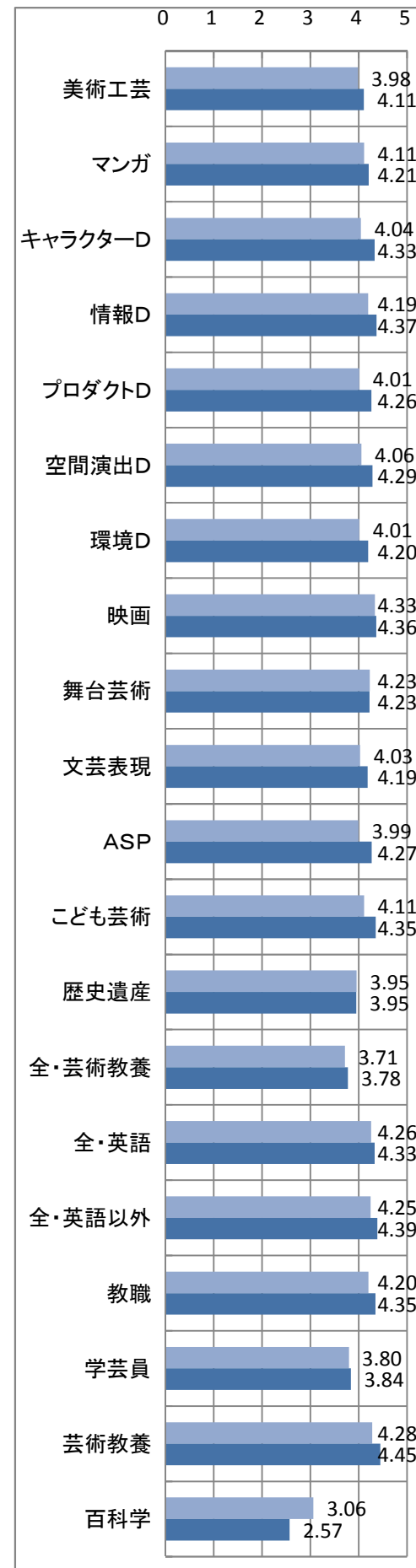
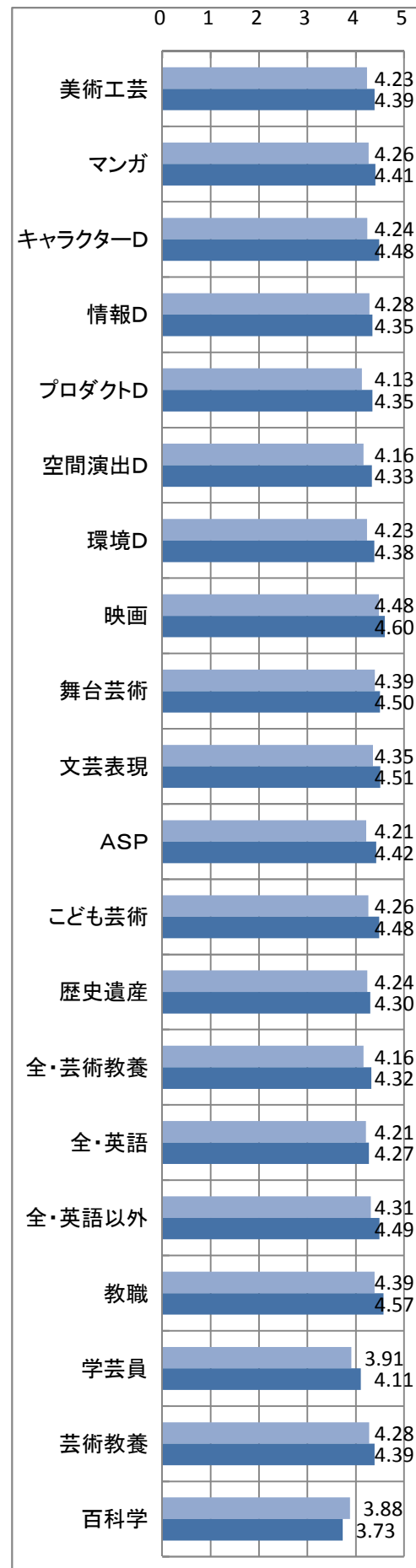
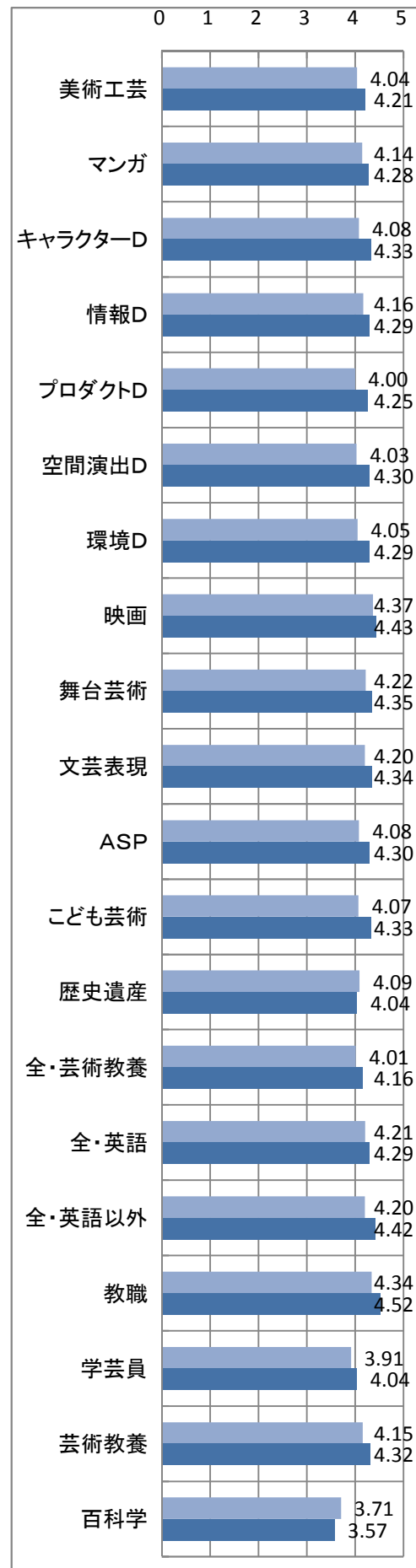
Q8. 授業の内容は、関心をもって取り組めるものでしたか？

Q9. 質問を求める促しや質問への回答など、教員とコミュニケーションがとりやすい雰囲気はありましたか？

Q10. 授業や課題について他の受講生と話し合ったりするなど、コミュニケーションをとるよう教員は促していましたか？

Q11. レクチャーやアドバイス、学習または制作の過程や配布資料などを、予習・復習のためにノートやファイルとして記録するように教員は促していましたか？

Q12. 課題の量と難易度は取り組むのに適切でしたか？



2013年度 授業アンケート学科別平均【講義】

2012年度 2013年度

Q1. 授業目標を達成するために、計画的に授業に取り組みましたか？

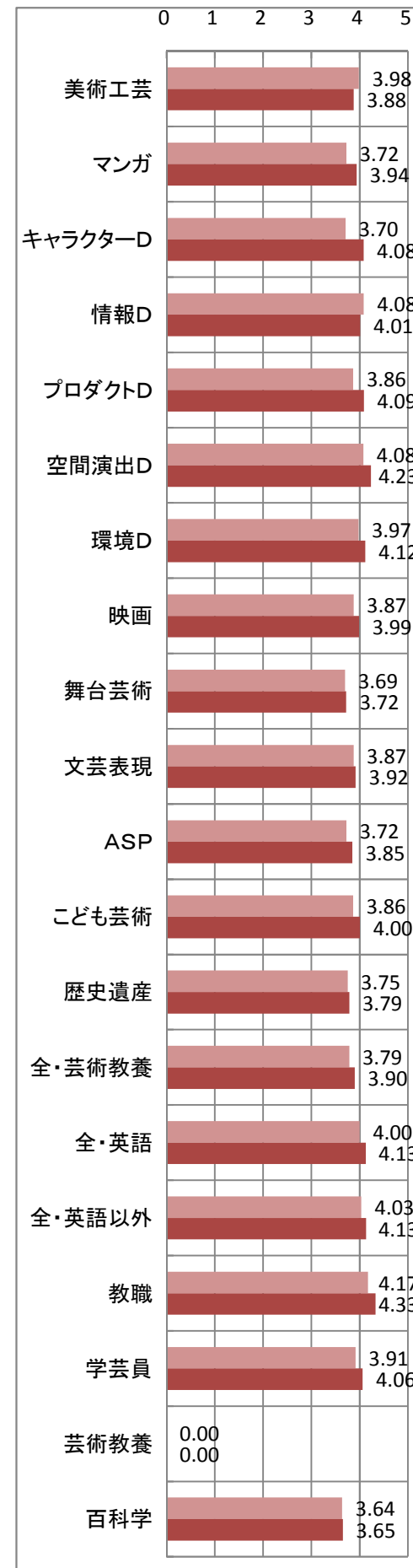
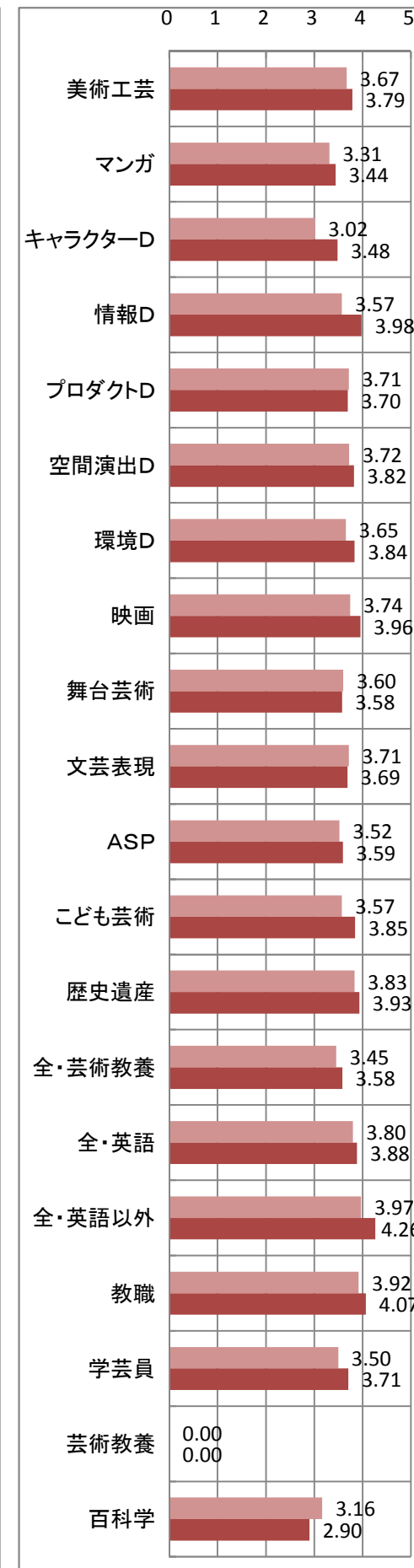
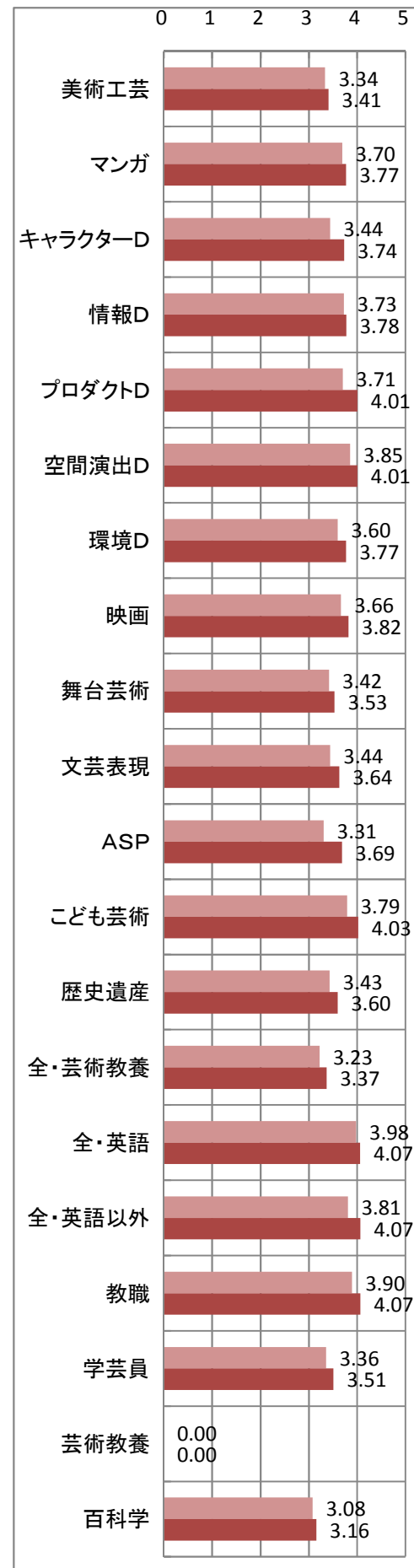
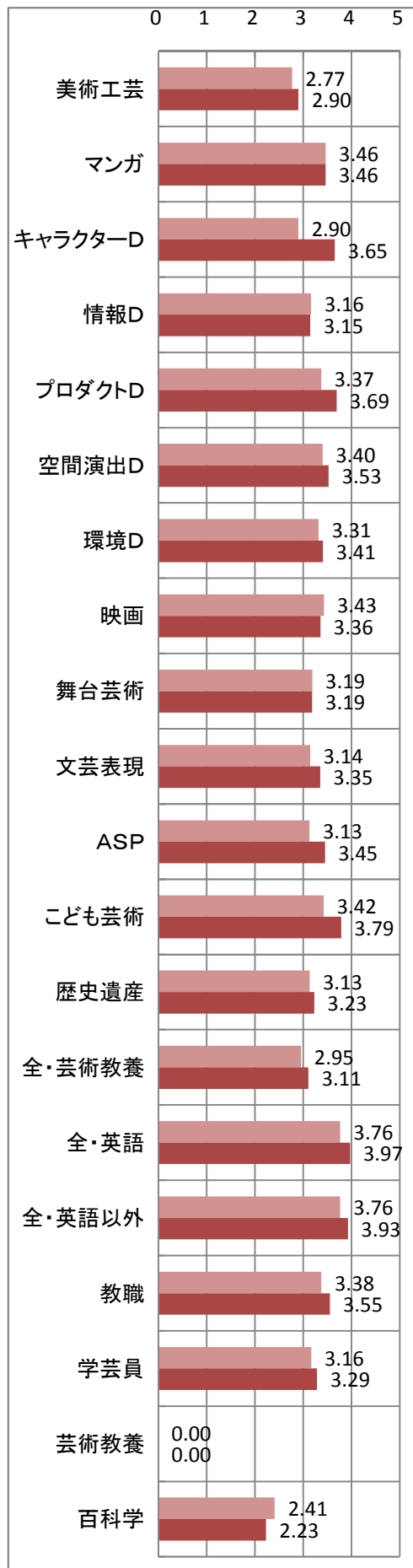
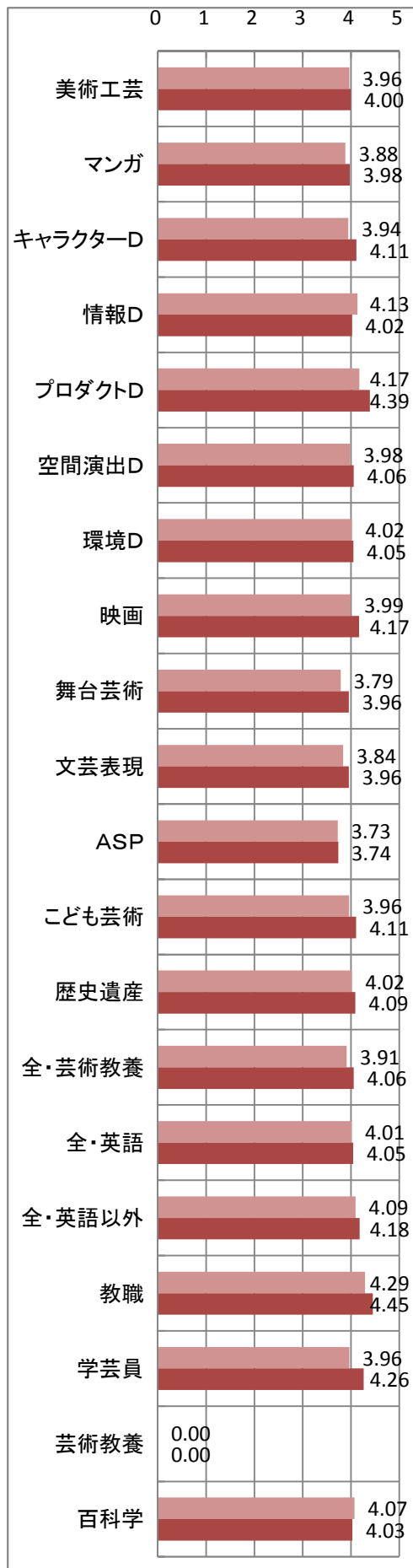
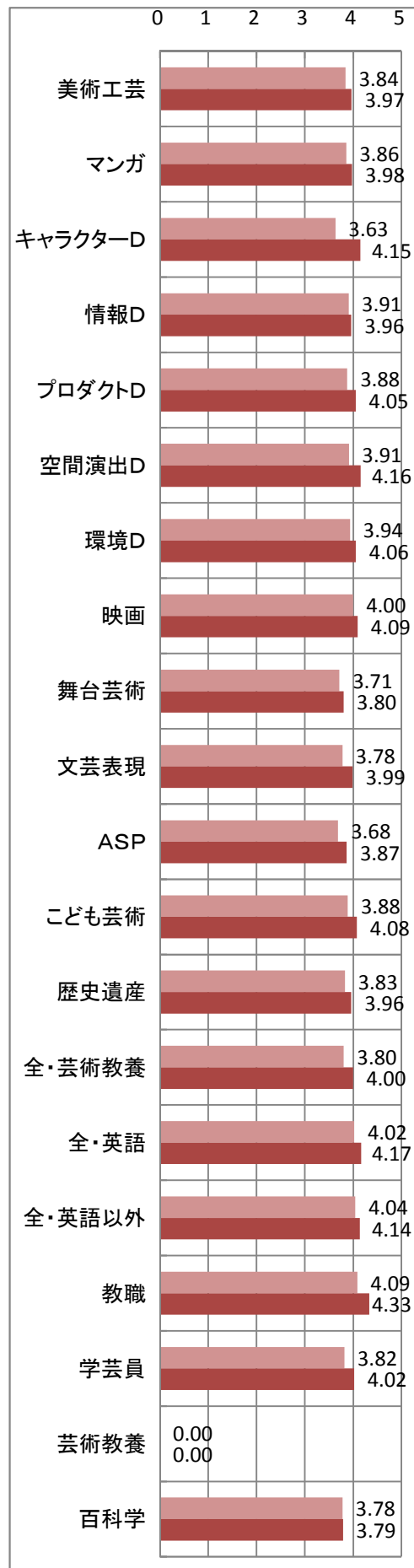
Q2. 遅刻や欠席をしないように努め、授業に積極的に取り組みましたか？

Q3. 質問や相談など、教員と積極的にコミュニケーションをとりましたか？

Q4. 受講者同士で授業や課題について話し合うなど、コミュニケーションを積極的にとりましたか？

Q5. 予習・復習のために講義ノートや制作ノート、資料ファイルなどの記録を作りましたか？

Q6. 課題(宿題・レポート)に積極的に取り組みましたか？



2013年度 授業アンケート学科別平均【講義】

2012年度 2013年度

Q7. 授業の到達目標について十分な説明があり、計画的に学習できるような授業でしたか？

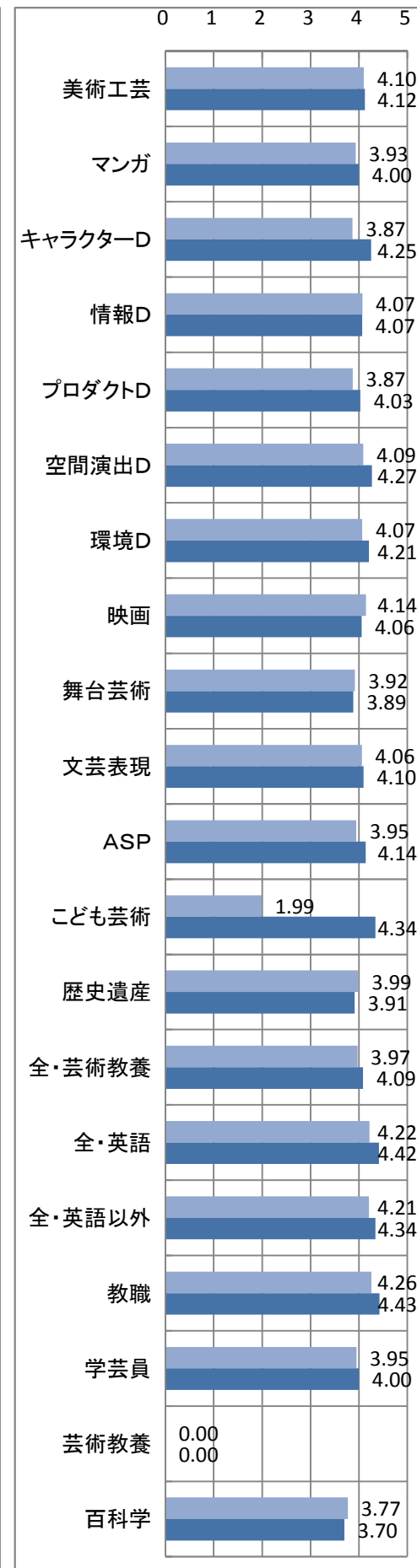
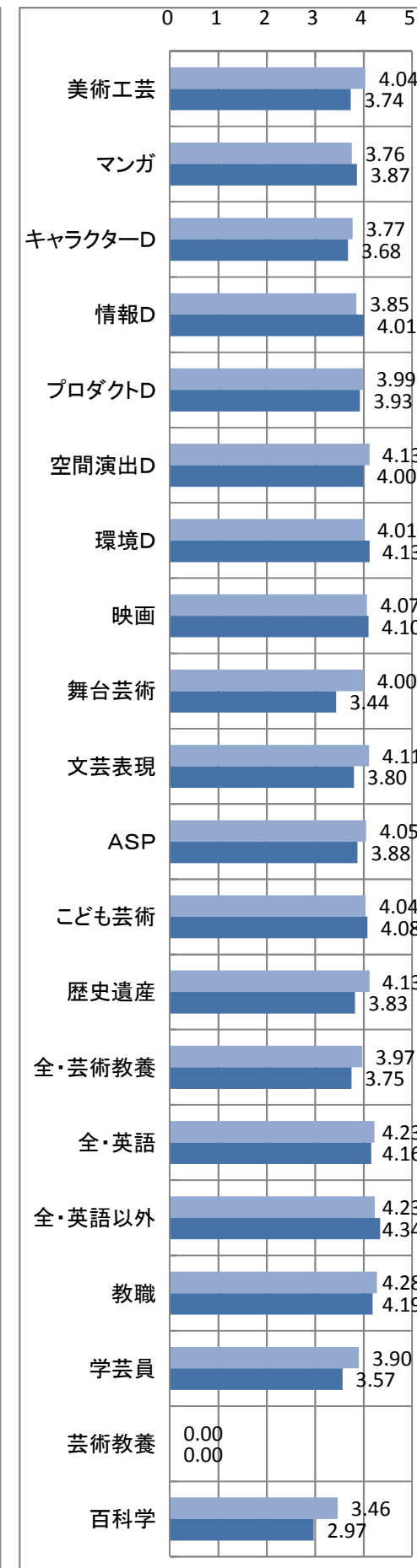
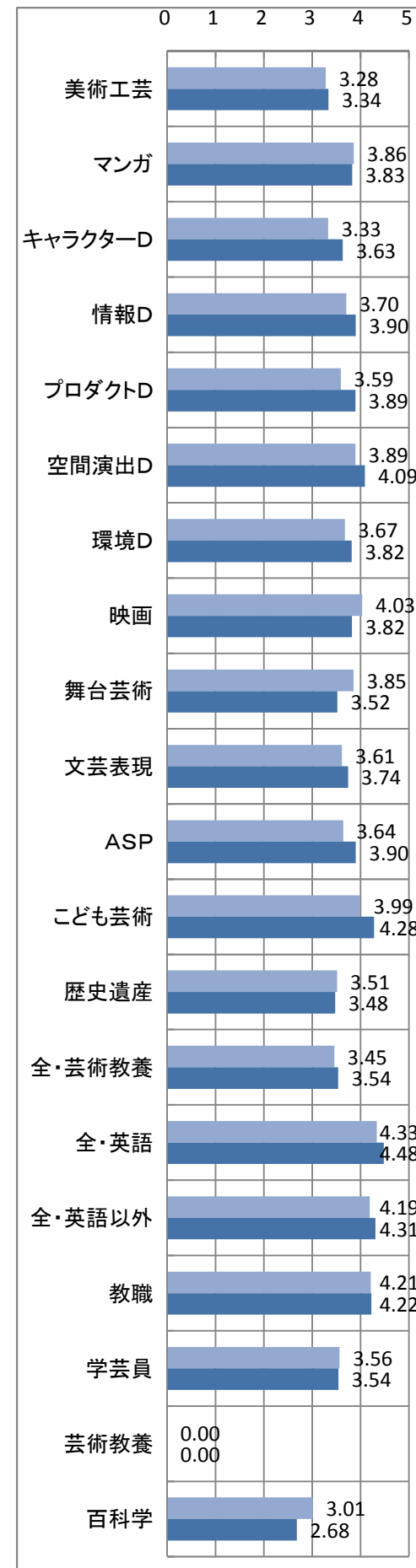
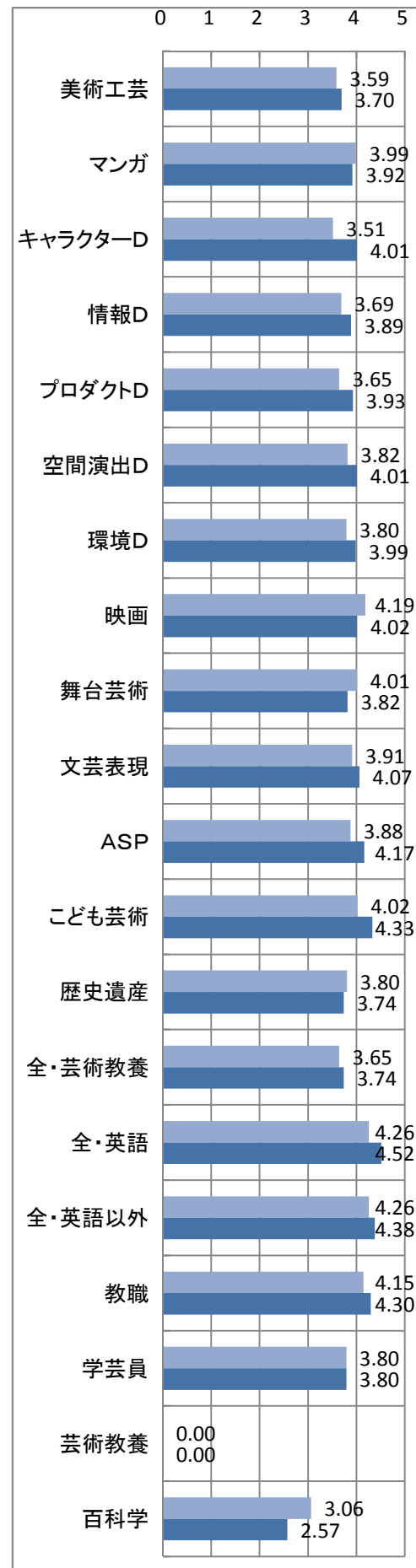
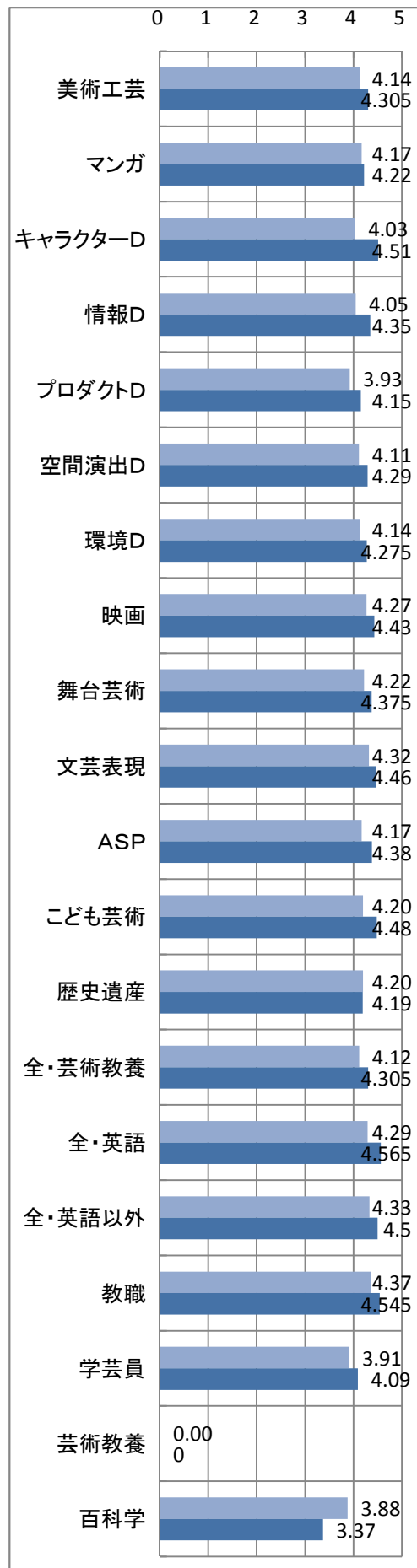
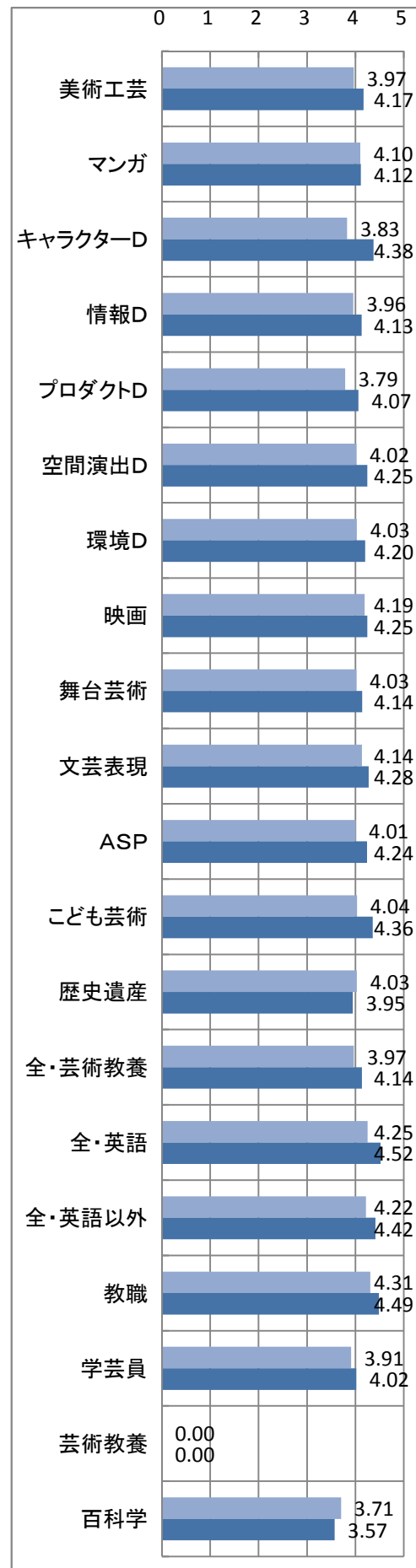
Q8. 授業の内容は、関心をもって取り組めるものでしたか？

Q9. 質問を求める促しや質問への回答など、教員とコミュニケーションがとりやすい雰囲気はありましたか？

Q10. 授業や課題について他の受講生と話し合ったりするなど、コミュニケーションをとるよう教員は促していましたか？

Q11. レクチャーやアドバイス、学習または制作の過程や配布資料などを、予習・復習のためにノートやファイルとして記録するように教員は促していましたか？

Q12. 課題の量と難易度は取り組むのに適切でしたか？



2013年度 授業アンケート学科別平均【演習】

2012年度 2013年度

Q1. 授業目標を達成するために、計画的に授業に取り組みましたか？

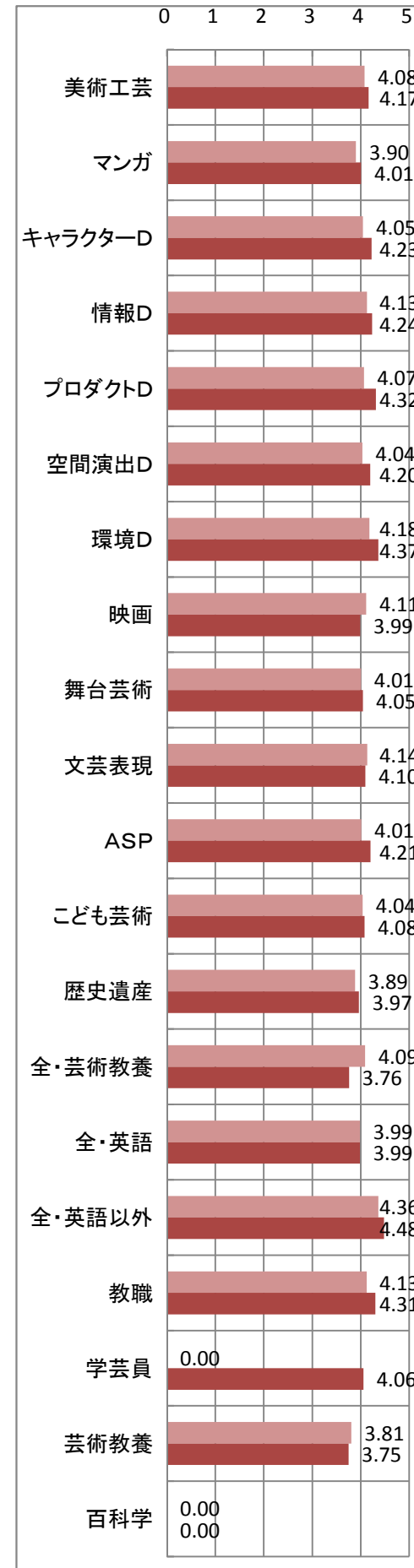
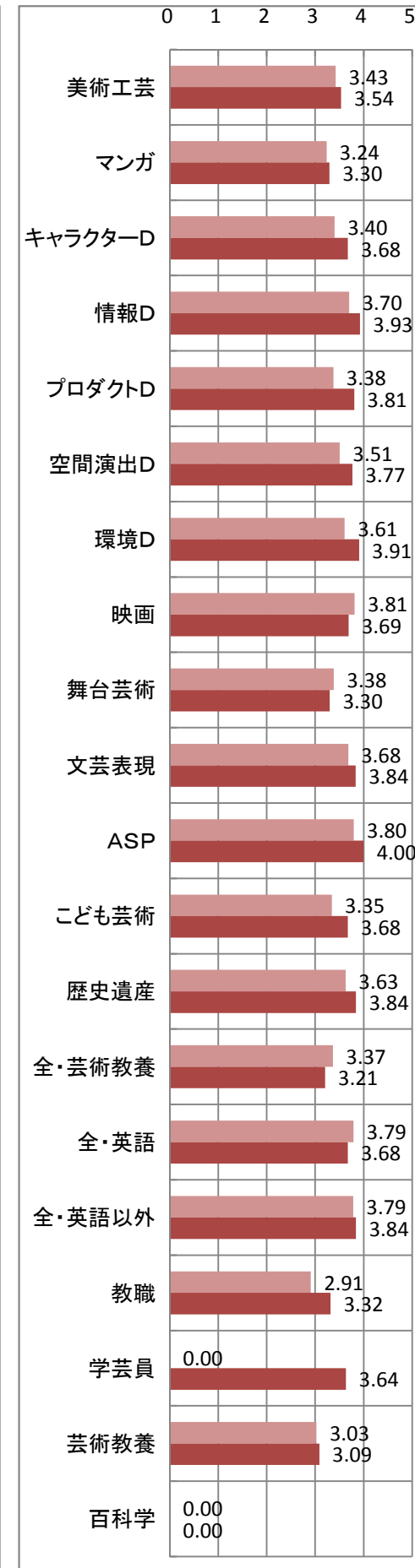
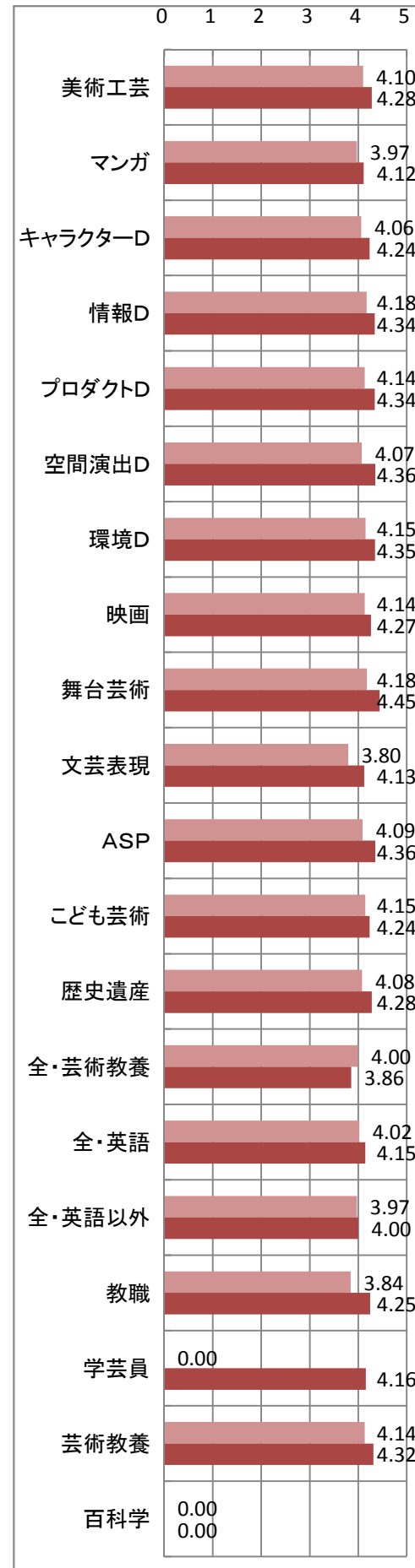
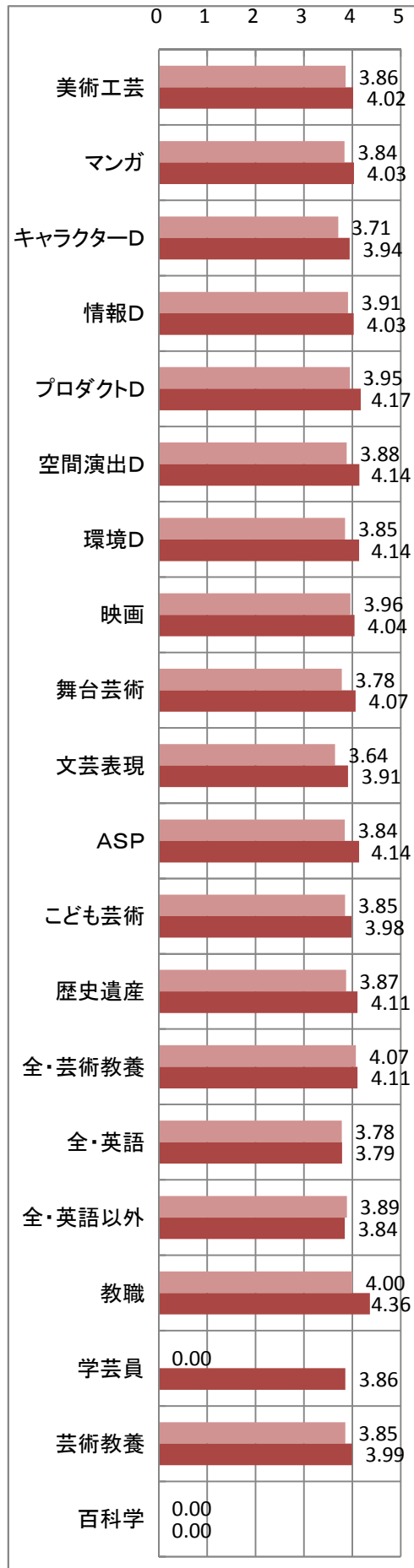
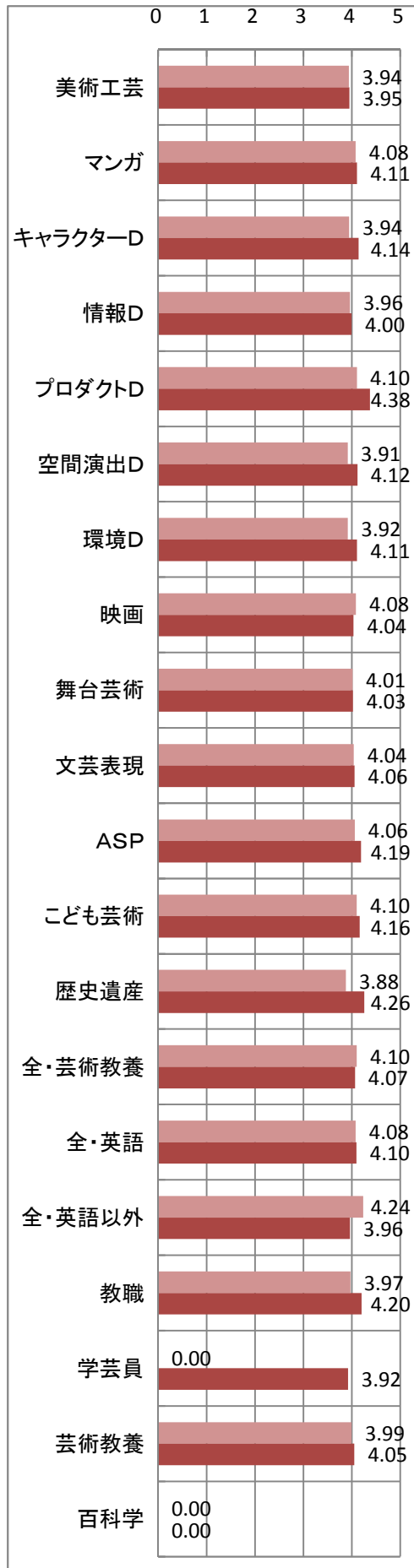
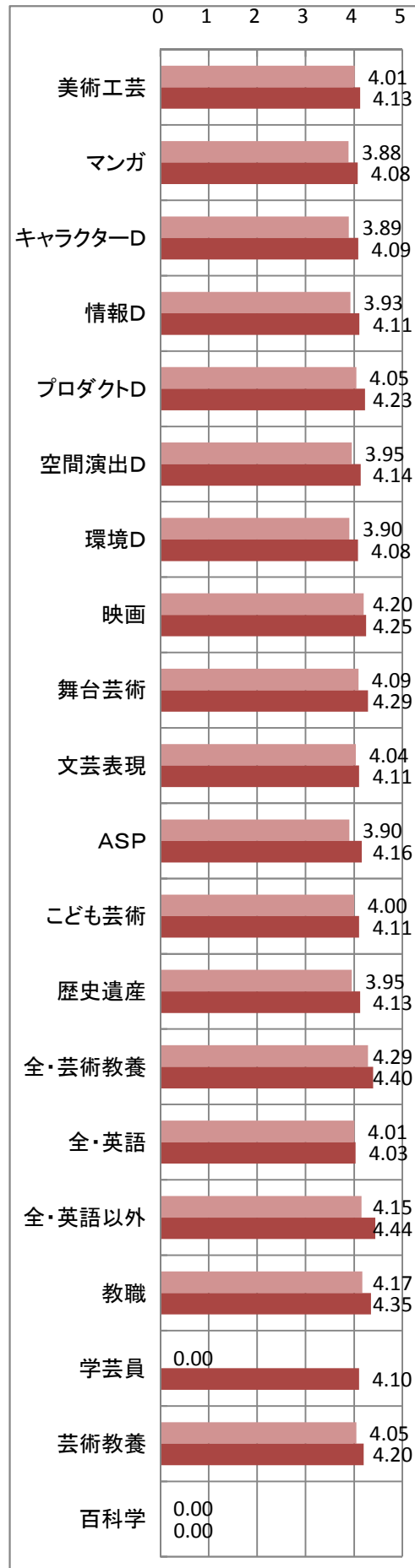
Q2. 遅刻や欠席をしないように努め、授業に積極的に取り組みましたか？

Q3. 質問や相談など、教員と積極的にコミュニケーションをとりましたか？

Q4. 受講者同士で授業や課題について話し合うなど、コミュニケーションを積極的にとりましたか？

Q5. 予習・復習のために講義ノートや制作ノート、資料ファイルなどの記録を作りましたか？

Q6. 課題(宿題・レポート)に積極的に取り組みましたか？



2013年度 授業アンケート学科別平均【演習】

2012年度 2013年度

Q7. 授業の到達目標について十分な説明があり、計画的に学習できるような授業でしたか？

Q8. 授業の内容は、関心をもって取り組めるものでしたか？

Q9. 質問を求める促しや質問への回答など、教員とコミュニケーションがとりやすい雰囲気はありましたか？

Q10. 授業や課題について他の受講生と話し合ったりするなど、コミュニケーションをとるよう教員は促していましたか？

Q11. レクチャーやアドバイス、学習または制作の過程や配布資料などを、予習・復習のためにノートやファイルとして記録するように教員は促していましたか？

Q12. 課題の量と難易度は取り組むのに適切でしたか？

